

令和3年2月2日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 福 島 秀 治  
 (コード番号：8732 東証第一部)  
 問合せ先 財 務 部 長 権 代 徹 也  
 (TEL. 03-4540-3804)

## 2021年3月期第3四半期連結業績速報値に関するお知らせ

2021年3月期第3四半期決算短信(連結)につきましては、2月12日に開示の予定ですが、速報値を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績速報値(2020年4月1日~2020年12月31日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 (当期)純利益
2021年3月期 第3四半期(速報値)	3,056	△683	△698	△848
2020年3月期 第3四半期(実績)	3,838	57	35	△94
増減率(%)	△20.4	—	—	—
2020年3月期 (実績)	5,872	622	595	249

当社グループは、FX事業及び暗号資産事業を営んでおり、当社グループの業績は相場動向や市場流動性等のマーケット環境並びに国内及び海外の経済環境等からの影響を大きく受け予測が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

上記の速報値につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は速報値と異なる可能性があります。

#### 2. 前第3四半期実績と当第3四半期速報値との差異の理由

営業収益は、外国為替取引高が前年同期比13.0%増加したものの、新型コロナウイルスによる世界的な金利低下の影響を受け、トレーディング損益が647百万円(△18.3%)減少、金融収益が51百万円(△91.4%)減少、海外渡航需要の蒸発によりマネパカードの海外利用を中心に受入手数料が42百万円(△62.7%)減少したこと等により782百万円(△20.4%)の減少となりました。

損益については、金融費用及び売上原価の合計が79百万円(△28.3%)減少、広告宣伝費の見直し及びマネパカードの利用による変動費減少等の減少要因があった一方、新基幹システムの稼働に伴う減価償却費の増加及びコイネージ社の連結子会社化による固定費の増加等の増加要因があり、販売費・一般管理費が38百万円(1.1%)増加したことから、営業利益は741百万円の減少、経常利益は734百万円の減少となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に基幹システム更新に伴うシステム移行費用80百万円の計上があったこと、当期に投資有価証券評価損99百万円及び固定資産除却損82百万円を計上したこと等により753百万円の減少となりました。

以 上